

「Dr. Madec サーコ対策セミナー」に参加して

伊藤忠飼料(株)研究所 阿久津 史 子

今、養豚関係者の集まりに参加すれば必ず話題に上るといっても過言ではない「サーコ」。

今回、本セミナーに参加させていただき「サーコ」に対する知識や考え方を再確認した点、認識を新たにした点がありました。が、総じて強く思ったことは、発症要因がまだまだ不明なこの疾病をコントロールすることの難しさであり、飼養環境からの対策ということでの“マデックの20原則”の重要性でした。

そこで“マデックの20原則”の内容について少し説明を加えたいと思います。(この原則は本セミナーのために来日したマデック博士が1998年にPMWS対策法として提唱したものです。)

●分娩ステージ

- 1- ロット毎にピットを空にし洗淨，消毒する。
(部屋毎のオールイン・オールアウトの徹底)
- 2- 分娩前に母豚の豚体洗淨，寄生虫対策をする。
- 3- 里子の原則禁止 (24時間以降は決してしない)

●離乳ステージ

- 4-1 豚房13頭以下，間仕切りは接触できない壁にする。
- 5- ピットを空にし洗淨，消毒，オールイン・オールアウト
- 6- 飼養密度 (1 m² 当たり3頭まで)
- 7- エサ箱の間口の広さ(子豚1頭当たり7 cm 以上)
- 8- 空気の質の改善 (アンモニア濃度 10 ppm 以下，二酸化炭素濃度 0.15% 以下)

9- 温度管理の徹底

- 10- ロット間で豚を混ぜない

●肥育ステージ

- 11-1 豚房の頭数はなるべく少なく，間仕切りは接触できない壁にする。
- 12- ピットを空にし，洗淨，消毒，オールイン・オールアウト
- 13- 離乳期の豚房と豚を混ぜない
- 14- ロット間で豚を混ぜない
- 15- 空気の質の改善 (アンモニア濃度 10ppm 以下，二酸化炭素濃度 0.15% 以下)

16- 温度管理の徹底

●その他

- 17- 適切なワクチネーションプログラム
(農場に応じたワクチネーション)
- 18- 豚舎内の適切な空気の流れ，豚の流れを守る
- 19- 徹底した衛生管理 (去勢時，注射時など)
- 20- 病豚の早期移動 (隔離部屋へ)

このように20項目を挙げてみると，それらは決してPMWSの対策だけにとどまるものではありません。豚を健康に飼うという養豚の基本(原点)そのものだと思います。SPF豚農場で常に農場の防疫に気を配って管理されている皆様には「何だ，今さらそんなことを」とお叱りを受けるかもしれません。が，これを機に今一度，基本に戻って考えていただければ幸いです。